

令和2年度第3回中仙地域協議会会議録

令和2年 9月23日

中仙地域協議会

令和2年度第3回中仙地域協議会会議録目次

■開催日時	1
■開催場所	1
■出席委員	1
■欠席委員	1
■出席職員	1
■次第	1
■開会	2
■会長あいさつ	2
■支所長あいさつ	2
■会議録署名委員の指名	3
■協議	3
(1) 中仙地域魅力発信拠点の整備について	3
(2) 東部地区地域協議会合同研修会及び交流会について	9
■報告	10
(1) 令和2年度地域枠予算活用事業について	10
(2) 中仙支所各課所管の事務事業等について	10
(3) 自治会からの意見・提言について	11
■その他	12
■閉会	13
■署名	13

■開催日時：令和2年9月23日（水曜日）午後2時

■開催場所：中仙農村環境改善センター ホール

■出席委員： 8名

伊藤 悟、遠藤 まき、小松 京子、今野 貴美子、佐川 晃、
高橋 朝夫、高橋 和政、傳農 百合子、

■欠席委員： 7名

高橋 強、高橋 トモ子、熊谷 壽男、小松 正樹、田口 馨、
富岡 喜榮、三浦 和則

■出席職員：8名

今 和則（中仙支所長兼地域活性化推進室長）	鈴木 真紀子（市民サービス課長）
大阪 文博（農林建設課長）	高橋 千秋（中仙公民館長）
新山 待子（市民サービス課参事）	藤原 喜文（農林建設課参事）
長谷川 祐城（地域活性化推進室副主幹）	門脇 友梨華（地域活性化推進室主事）

■次 第：

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 支所長あいさつ
- 4 会議録署名委員の指名
- 5 協議
 - （1）中仙地域魅力発信拠点の整備について
 - （2）東部地区地域協議会合同研修会及び交流会について
- 6 報告
 - （1）令和2年度地域枠予算活用事業について
 - （2）中仙支所各課所管の事務事業等について
 - （3）自治会からの意見・提言について
- 7 その他
- 8 閉 会

(午後 2 時 0 分 開会)

○事務局 (地域活性化推進室) 開会を宣言

○高橋朝夫中仙地域協議会長 (以下「会長」と表記)

ご覧の通り、秋晴れの盛りいい天気の中、皆様にお集まりいただきましてありがとうございます。私も午前中から脱穀して、午後は息子と妻に任せてきました。非常にいい天気なので今日の出席者を見ると、急に来られなくなった、田のほうに忙しいという方もおられるようです。できるだけそくそくと話を進めて、今日の会議を進行していきたいと思っておりますので、皆様ご協力よろしくお願いたします。

○今支所長 (以下「支所長」と表記)

本日は、農繁時期のお忙しい中「令和 2 年度第 3 回中仙地域協議会」にご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

改めまして、皆様には、日頃より、それぞれのお立場から協働のまちづくりを推進する中核としまして、地域における課題の解決に向けた仕組みづくりや、地域の特色を活かした活動と、市の施策・事業に対するご提言のとりまとめなど、ご理解とご協力を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

本日、ご審議いただく案件は、ご案内のとおり「中仙地域魅力発信拠点の整備について」と「東部地区地域協議会の合同研修会について」の 2 件と、併せて「令和 2 年度地域予算活用事業」及び「支所の事務事業」等について報告させていただく予定です。

前回からご審議いただいている案件の「中仙地域魅力発信拠点整備事業」につきまして、皆様からのご意見を踏まえまして、「道の駅なかせん」を拠点として選定し、地域の魅力の「情報発信拠点」と、地域住民の「交流拠点」としての機能等を整備して、地域の皆様と市の協働による地域活性化を一層推進していこうとするものでございます。

「道の駅」は、人口減少社会において地域活力をいかに維持していくかなどの課題に対しまして、観光振興や産業振興、さらに地域の拠点の形成等によりまして交流人口増加や定住促進を図るなど、地域における地方創生戦略を具体化していく上での有効な資源となり得ると言われております。当地域協議会としましても「道の駅なかせん」が地域における課題解決の資源として、更に地域活性化の拠点、地方創生における拠点になり得ることを認識していただき、整備する拠点を生かしてこの中仙地域が更に元気になるためには、地域としても何ができるかをご検討いただくようによりしくお願いしたいと思います。

ご承知のとおり、地域協議会の役割は、身近な地域の課題について議論し、意見をとりまとめ、その意見を市政に伝えることとでございます。その役割を果たすため、大きく 3 点について実施していただいております。一つ目が「諮問・答申」の実施、二つ目が「自主的審議」の実施、三つ目が「地域を元気にするために必要な事業提案」の実施でございます。

す。

「中仙地域魅力発信拠点整備事業の提案」は、2つ目の「自主的審議」として実施していただくものであり、地域協議会としまして、地域の皆さんや活動団体との意見交換や情報交換を通じて把握した地域の課題の解決に向けて、地域が主体的に取り組むことに際しまして、市に対して必要な対応を求めることができる制度であります。

こうした事業制度を今一度ご認識いただき、提案事業「中仙地域魅力発信拠点整備事業」について、よろしくご審議賜りますように重ねてお願い申し上げまして、開会にあたっての挨拶とさせていただきます。

本日は、どうぞよろしくお願いいたします。

○会長 それでは次第4の「会議録署名委員の指名」に入ります。中仙地域協議会運営規程第7条第2項により、議長が指名することとなっております。今回は遠藤まき委員、高橋和政委員にお願いします。

それでは次第5「協議」に入ります。はじめに「(1)中仙地域魅力発信拠点の整備について」になります。これは8月11日に審議いたしましたけれども、継続した審議が必要という判断をいたしまして、先般皆様からご提出いただいた意見書の結果を踏まえ、今回の協議会で自主的審議案件として再度協議するものです。前回の協議会では、委員の皆様から道の駅の3つの機能であります「休憩機能」、「情報発信機能」、「地域連携機能」に関する幅広いご意見をいただきましたが、この拠点整備事業はその中でも地域の魅力の発信拠点、それから地域の交流拠点としての機能を整備しようとするものでございますので、前回は道の駅そのものに対するご意見をいただきましたが、今回はこの2点に重点を置いた協議を進めて参りたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは事務局より説明をお願いします。

○事務局（地域活性化推進室）

鈴木市民サービス課長（以下「市民サービス課長」と表記）

資料に基づき説明

○会長 ありがとうございます。市民サービス課長と事務局から説明がありました。皆さんにこれについてご協議いただきたいと思います。意見、質問等ございましたらよろしくよろしくお願いいたします。

○佐川晃委員 資料を見ると、皆さんから非常にいい意見があったと思います。部分部分で色々な話をしていますが、発信拠点という意味で考えたとき、道の駅が適当であると思いましたが、ただ、道の駅の建物自体をどうにかしようとするのは、壊してまた最新型の道の駅にするというのは中々難しいでしょうから、今あるものを利用して、それを活かすた

めにどのようにするかというように視点を変えてみたらどうでしょうか。ここに一つ良い提案があって、川の向こうの景色が非常にきれいで、鉄道マニアのカメラマンなどから非常にいい写真をたくさん撮られているようです。中の狭いところだけでいろんな工夫をするというもの良いですが、中仙の情報発信基地という考え方をするとするならば、道の駅の外を取り入れてみてはどうかと感じました。一つ一つ皆さんから出ている意見、拠点に必要なと思う設備、コーナーについては非常にいい意見で、みんな取り上げたいなとは思いますが、予算の関係もあるのでしょうかから、どれを重点としてやるかということが大事ではないかと思えます。事務局の方から提案もされているものは可能性がかなり高いものだと思いますが、これに含めて委員の意見も取り入れてもらうことはできないかと思えます。

○会長 今の佐川委員のお話ですけれども、こちらは道の駅自体に提案するべきでしょうか。それかここでもう少しお話していいものでしょうか。

○支所長 どちらかと言えば道の駅の指定管理者にお伝えして、そちらに対応してもらうべき案件かと思えますので、事務局の提案した拠点整備についてご意見いただければと思います。よろしくお願いします。

○会長 ありがとうございます。道の駅における事業であるということで、そちらに提言してくださるということで支所長からお話ありました。拠点の方に関しまして、なにかご意見ございますか。

○遠藤まき委員 お聞きしたいのですが、事務局の方で、道の駅なかせんの拠点整備イメージ図にあるような形でやりたいという提案なのでしょうか。これにお金をかけるということでしょうか。

○支所長 協議会の自主的審議案件として、道の駅なかせんの拠点整備の提案をイメージ化したものですので、皆様からご審議いただければと思います。

○会長 いかがでしょうか。私の方では事務局からあらかじめ少し説明を受けていますが、地域枠予算等を活用して整備するとすれば、プロジェクターでの大型スクリーン映像やサインの更新といったものは地域枠予算の範囲内で行えるということでした。前回色々お話ししましたが、やはり道の駅全体の話になると、補助金を使って建てたもので償還が終わっていないことから、建物の補修等はできないという話でありました。そのため可能な範囲内の拠点整備ということで、支所のほうで検討した結果、拠点整備のイメージ図を例として挙げてくれたわけです。ですから、私も道の駅全体の改修を含めて考えていましたが、現状としては道の駅内の展示をなんとかして、一人でも多く地域の皆さんまたは通りがけに道の駅で休まれた皆さんに中仙をアピールしたいということですので、そちらに留めて

もらいながら、検討していただきたいと思います。

○遠藤まき委員 委員の皆さんからの意見、要望を取り入れる気持ちは市にあるのでしょうか。道の駅が今のままでは駄目だということで、第2回目の地域協議会で色々意見が交わされ、また、意見書も提出しています。出された意見は、提案されたこの拠点整備のイメージには全然取り入れられていない。私が一番問題と思ったのは、道の駅がどこにあるかわからないこと。これを解決するため、200m先や、3km先に看板を設置したらどうかという提案がありました。そうした意見を踏まえた提案が全くされていない。なんのために話し合いをしたのかと感じます。このままの提案では、お金をかけてもなにも変わらないような気がします。

○会長 支所長いかがでしょうか。

○支所長 前回から貴重なご意見を頂戴いたしましてありがとうございます。看板の設置のご意見につきましては、貴重なご意見として市としても受け止めておりますが、高額な経費を要する提案については中・長期的な計画の中で対応を検討していきたいと思います。今回の提案は、委員の皆様からいただいたご意見を参考に、予算的な面も考慮したうえで、来年度の実施が可能な範囲で提案させていただいたものですので、ご理解いただきたいと思います。いただいたご意見につきましてはきちんと受け止めて、今後も検討していきたいと思っておりますのでよろしく願いいたします。

○佐川晃委員 予算と言われますが、看板の作成にどのくらいの経費がかかるのか、拠点の整備にどの程度の予算がかけられるのかを説明していただきたいと思います。拠点の情報発信ということであれば、提案の内容でよろしいのではないかと思います。

○支所長 例年、地域の魅力再発見事業にかかる予算につきましては、全ての事業を合わせて100万程度となっています。これは、「ドンパン節の里なかせん活性化プロジェクト」、「未来へつなぐジャンボウさぎ保存継承事業」「中仙千本桜プロジェクト」などを含めた事業で100万程度というところであります。また、地域枠予算は全体で1200万程度の予算ですが、昨年度の執行率は80%ですので、240万程度の余力はある状況です。こうした状況から考えて、100万程度の予算でこの地域魅力発信拠点の整備を実施したいと考えているところでございます。

○遠藤まき委員 道の駅なかせんの良いところは何かを聞いてみたところ、トイレがとてもきれいという声を聞きました。少し我慢しても、中仙の道の駅に行こうとなるようです。こうした集客を増やすためにも、やはり200m先の看板があればもっと集客できるのではないかと思います。それが第1歩になるのではないかと思います。

○**会長** トイレは評判がいいので、そこから本館への導線ですね。それをうまく活用してほしいという遠藤委員からのご意見でした。支所長、ただいまのご意見を踏まえ、提案の看板、案内サインの更新の中で、道の駅へ誘導する看板を設置することは可能でしょうか。国道105号線の看板は県が管理しているかと思いますが、県への申請が必要となるのでしょうか。

○**支所長** 説明資料にありますとおり、駐車場とトイレ、休憩所につきましては市が県と協定を結んで管理しております。道の駅の登録については、市が国に登録申請をして道の駅なかせんとして登録しているところであり、道の駅の看板は、国道に県が道路管理者として設置している看板がありますが、それ以外の看板が必要というご提案ですので、県と協議しながら進める必要があると考えており、市としても検討したいと思っております。

○**会長** 佐川委員、遠藤委員からご意見のありました看板の設置につきましては、県と協議していくということです。他になにかご意見はありませんか。この拠点整備案について、これを進めてみよう、ここはこうした方がいいのではないかというご意見はございませんでしょうか。

○**今野貴美子委員** 私も意見書を提出するときに色々考えましたが、この厳しい財政状況のときに何ができると考えて、看板と照明だけにしました。看板は屋外ですが、中の照明については償還が終わっていないものなので手をつけられないのでしょうか。

○**新山市民サービス課参事（以下「市民サービス課参事」と表記）**

資料の道の駅なかせんの現状というところに記載しておりますが、照明等もリニューアルオープンするときに改修し、平成8年度の開設当初よりも明るくなっております。ただ、アンケート等ではまだ暗いとのことがあり、天井が高く上からの照明が届かないというのが原因かと思われます。野菜コーナーの低いところに照明をつけることも検討していますが、野菜の鮮度等に影響が出てくるのではないかという意見もあり、足踏みしている状態です。以前に比べれば明るくはなったけれども、他の道の駅に比べれば暗いのかなと、こちらとしては受け止めているところであります。

○**佐川晃委員** できないことではなく、どういったことならばできるのかと考えるべきだと思います。また、照明で野菜が悪くなるということはないと思う。補助事業の関係で手を入れられない部分がある理解できますが、できる範囲のことを提示してもらいたい。

○**今野貴美子委員** 大仙市の道の駅は、全て指定管理者に委託しているのですか。どの道の駅でも経営はうまくいっているのでしょうか。

○市民サービス課長 全て指定管理となっています。以前の報告では道の駅なかせんの経営状態が一番良い状態でした。

○高橋和政委員 この事業は令和2年度に実施するのですか。それとも、今話し合いをして令和3年度に実施するのでしょうか。または、何カ年の計画というものでしょうか。出されている意見が多いので、とても100万、200万などいうものでもとても足りないと思う。今年や来年の話なのか、例えば5カ年計画で進めていくということかをはっきりしなければ、話がおかしくなってしまうのではないかと思います。

○事務局（地域活性化推進室）

ありがとうございます。地域の魅力再発見事業は地域活性化推進室が進めている事業で、これまでに「ドンパン節の里なかせん活性化プロジェクト」、「なかせん千本桜プロジェクト」、今年度から「ジャンボうさぎ保存継承事業」をスタートしており、来年度これに加えて「地域魅力発信拠点整備事業」を新たに企画提案したいというものになっております。地域の魅力再発見事業というのは来年度で一旦完了を目指すこととされており、いずれの事業も来年度で区切りをつけるというものになりますので、「地域魅力発信拠点整備事業」につきましても来年度1年間のできる内容での提案と考えております。

先ほどからの佐川委員、遠藤委員のご意見、前回の協議会や意見書で多岐にわたる道の駅全体に対する非常に有意義なご意見を頂戴しておりますが、今回の事業の目的は道の駅の全体的な整備ではなく、道の駅で地域の皆さんとの協働による地域の魅力発信の拠点を整備しようという事業であるため、その部分に特化した事業提案になっております。他にもたくさんいい意見があるのに事業提案に反映されていないというのは、魅力発信の拠点整備という目的に直結している、または関連性の深いものしか提案に反映されていないということだと思います。そうすれば、協議会の中でいただいている他のたくさんのご意見をどのように取り扱っていくのかということに関しましては、補助事業の関係ですぐには手を付けられない建物部分に関連することについては、内容も経費的にも規模の大きいことですので時間をかけて償還終了後の改修の検討を進め、照明や案内看板、道路標識など補助事業に関係しない比較的小規模な内容については、指定管理者と市の協議により事業計画へ盛り込むことを検討することができます。魅力発信拠点の整備というよりは施設の管理、運営に係るご意見については、その全てのご意見を実現するというのは難しいかもしれませんが、市の道の駅管理という業務の中で検討に組み入れていくことと考えております。

○遠藤まき委員 魅力発信拠点整備事業は来年度ということですが、この事業に含まれていない意見を今後は組み込むことはできるのか。高橋委員が言われたように、長期の計画になってもかまわないので、せつかくこのようにいい意見が出ているので、少しずつでもいいので実施することはできませんか。

○**市民サービス課長** 野菜直売コーナーの照明については、令和元年度当初に予算要求をしておりましたが、防犯カメラ等の整備が優先となりまして承認されませんでした。来年度の当初予算へ要求したいと思います。

○**会長** ありがとうございます。来年度で魅力再発見事業は一旦終わるということですが、令和4年度以降はこのような事業は考えられるものでしょうか。

○**事務局（地域活性化推進室）**

現在のところ見通しはたっていない状況です。

○**佐川晃委員** 我々としては同様の事業を続けていただきたいと思います。

○**会長** 支所長や市民サービス課長、農林建設課長にもお聞きとりいただいたと思いますので、来年度以降も意見の反映をご検討いただければと思います。さて、事務局から提案された来年度の魅力発信拠点整備事業については、提案のとおりとすることよろしいでしょうか。

○**小松京子委員** 道の駅にいと、お客さんからジャンボウさぎはどこで見ることができるかと聞かれることがあります。うさぎの肉もどこに売っているかと聞かれることがあります。また、ドンパン節の歌詞を知りたいというお客さんもいました。パンフレットに歌詞がついているものがありましたが、字が小さく見づらいです。ディスプレイを整備することですが、皆さんで踊れる参加型のイベントもあればいいなと思います。

○**遠藤まき委員** ドンパンじっちゃうちわの裏面を観光情報にするということですが、ドンパン節の歌詞を紹介すれば、表面がドンパンじっちゃと関連があつて良いのではないのでしょうか。

○**大阪農林建設課長（以下「農林建設課長」と表記）**

ジャンボウさぎ肉については、仕入先や常時の取り扱いがあるかはわかりませんが道の駅で販売されています。実物に関しては、市で所有しているうさぎは居ないため飼育農家を紹介して見学していただくことができます。農林建設課へご連絡いただければ、農家へ連絡し、許可をいただければ職員が現地へ案内して見学していただけます。ただし、農家と連絡が繋がらない場合もあります。

○**小松京子委員** 前もってアポイントをとって来て下されば良いのですが、観光客は道の駅に来ればうさぎを見れるものだと思って来られていて、そこから連絡をとるとなると時間もかかってしまう。

○農林建設課長 前もって連絡いただくのが一番ですが、今から見れないかという方が大半です。道の駅で飼うのは、生き物なので難しいと思われます。新しく若手の牛農家がうさぎを飼われるので、今後は連絡が取りやすくなるものと思います。農林建設課にご連絡いただければすぐに対応いたしますので、よろしくをお願いします。

○小松京子委員 沖縄の方からジャンボウさぎを送ってほしいと言われたが、役場に相談したところ沖縄に送るのは無理とのことだった。

○農林建設課長 うさぎを沖縄に送ったことはあります。ただ送れる子うさぎがなかなか生まれない状況になっています。現在の状況で1年待ちという状態になっているので、時間はかかるかもしれません。

○会長 ジャンボウサギも例えば秋田犬のように常設できればいいのでしょうかけれども、秋田犬も常設と言いながらストレス等の関係で1頭につき1日2時間程度しか触れ合えないらしいです。ジャンボウさぎは普通のうさぎよりももっとストレスに弱く、ジャンボウさぎフェスティバルのコンクールの最中に死ぬこともあります。常設というのは難しいと思います。大阪課長がおっしゃっていたように、やはり農家をご案内して見ていただけるように、観光客を誘導していただければと思います。

他にこの事業に関連する事でご意見ある方はいらっしゃらないでしょうか。

(なし)

では、道の駅の管理、運営に関する意見については今後ご検討いただくということで、魅力発信拠点整備事業については、来年度の事業として進めていただいてよろしいでしょうか。それでは、これを来年度の事業として進めるよう、協議会として意見書を提出することとします。ではこれで「(1) 中仙地域魅力発信拠点の整備について」を終わります。

次に「(2) 東部地区地域協議会合同研修会及び交流会について」について事務局から説明をお願いします。

○事務局（地域活性化推進室）

資料に基づき説明

○会長 ただいま事務局から説明ありました。皆さんにご協議いただきたいと思います。ただし、新型コロナウイルスの感染者が大仙市管内でもぼつぼつと発生している状況ですので、開催の可否も含めて検討いただきたいと思います。ちなみに、先日開催された自治会連合会理事会では、行政交流会や研修会の開催について協議しましたが、今年は残念ながら見合わせるということで1年間延期ということになりましたが、いかがでしょうか。

○高橋和政委員 資料を見ますと太田、仙北、中仙の持ち回りでやっているようですね

ども、今年中止という判断を中仙ですることは可能なのでしょうか。

○事務局（地域活性化推進室）

今年もし開催しないとする場合は、今まで持ち回りでやってきておりますので、延期して来年度に中仙で開催する方向での調整は可能だと思います。

○高橋和政委員 そうであれば今年度はやはり自粛ということにしたらいいのではないのかなと思います。

○会長 今、高橋委員からご意見ございましたが、他の皆さんはどのような考えをお持ちでしょうか。

○今野貴美子委員 賛成です。

○会長 他の方々はいかがでしょう。今事務局から提案があったとおり、今年度開催しないということにしますと、来年度中仙の担当になるということになりますけれども、今年度どうしてもやりたいという方などはいらっしゃいますか。

○遠藤まき委員 3つの地域が集まるとなると結構な人数になりますので、今は自粛のムードがありますので、今年は見合わせたほうがいいと思います。

○会長 皆さん同じ考えでしょうか。それでは、今年度は中止にしたほうがよいことですので、事務局からは、今年度は中止とし来年度コロナが落ち着けば中仙での開催をする方向で、太田、仙北各関係者へ連絡をお願いします。

以上で「（2）東部地区地域協議会合同研修会及び交流会について」を終わります。

それでは次第6「報告」に移ります。「（1）令和2年度地域枠予算活用事業について」を事務局から説明をお願いします。

○事務局（地域活性化推進室）

資料に基づき説明

○会長 ありがとうございます。ただいま事務局のほうから説明ありました。質問などございましたら、お願いします。

（なし）

なければ次の報告に移ります。

それでは「（2）中仙支所各課所管の事務事業等について」、担当各課から説明をお願い

いします。

○支所長

市民サービス課長

農林建設課課長

中仙公民館長

資料に基づき説明

○会長 ありがとうございます。ただいま各課から説明がありました。これについて質問、意見ございましたらお願いします。

○小松京子委員 市民サービス課のエール花火についてですが、清水小学校は終わりましたか。

○市民サービス課長 清水小学校は中仙中学校と一緒に行うとのことですが、開催はこれからです。

○小松京子委員 開催日等は教えていただけませんよね。FMはなびのお昼に発表するというのですが時間的に聴けないし、保護者から聞くこともできませんし。ただ、清水小はまだこれからということですよ。楽しみにしています。

○高橋和政委員 地域活性化推進室のところの地域予算についてですが、地域イベント応援型というのはドンパン祭りのことよろしいですか。

○支所長 はい。中止にはなりましたが、これはドンパン祭りが対象です。

○小松京子委員 今年の清水分館まつりに行きました。バザーもなくて心配していましたが、作品の出品数多くて、いつもよりゆっくり見ることができました。館長さんにもそういうお話をして、今年はこれで良かったのかなと思いました。お疲れさまでした。

○中仙公民館長 ありがとうございます。当初は作品展示のほかにバザーもやると聞いておりましたが、その後作品展示のみということになったようでした。

○会長 今年はやはりコロナウイルスのせいでイベント等制限されていますが、そのなかでうまく一生懸命できることを考えるというのは素晴らしいと思います。

他にございませんでしょうか。

(なし)

ないようですので、続いて、「(3) 自治会からの意見、提言等について」事務局から

説明をお願いします。

○事務局（地域活性化推進室）

資料に基づき説明

○会長 ありがとうございます。ただいま事務局から説明がありました。これについて質問などございましたらお願いします。

（なし）

質問は後日でも結構ですので、事務局のほうにお問合せください。先日、自治会連合会理事会で承認され、全自治会長へ展開されています。質問等ないようですので、よろしいでしょうか。

それでは次第7「その他」に移ります。各課所室、その他委員のみなさん、なにかございますでしょうか。

○市民サービス課参事

大仙市アーカイブズ新着資料展の資料を配布しております。先日行ってまいりましたので、紹介させていただければと思います。平瀬呉服店は長野にあり、その内蔵にありました資料をアーカイブズに寄贈したところ、今回皆さんに展示できる準備ができ、新着資料ということで開催となりました。こちら8月22日から11月7日の予定で展示されています。アーカイブズの開館は日、月、祝日はお休みということで、火曜日から土曜日の朝9時から夕方5時までの開館時間になります。私の知っている平瀬呉服店は呉服店というイメージしかなく、興味を持ちましたので行ってみましたが、呉服店は大正時代から開業されており、展示品は江戸時代から昭和の初期までのものが展示されておりましたが、ドラマで見たことがあるようなものから江戸時代の見たこともないようなものもあり、行って良かったと思う内容でした。中仙地域のものが展示されていますので、皆さん興味を持っていただけたら足を運んでもらえたらと思います。行くとアーカイブズの職員が説明して案内してくれました。質問しながら回ったところ、1時間弱程度で見学できました。自分で見るという方以外には説明して下さるということでした。インターネットでの紹介のほか、広報にも掲載したいと思っております。委員の皆さんからも、地域の皆さんに紹介していただければと思います。場所が少し遠い旧双葉小学校ですが、車で30分程度になりますけれども、ぜひ行ってもらえたらなということで今回紹介させていただきました。

○会長 ありがとうございます。興味がある方、時間のある方はぜひ一度ご覧になってください。私もなかなか時間をとれませんが、できればぜひ行きたいと思っております。これに関しては何かご質問等ございませんでしょうか。

（なし）

それでは、他にございませんでしょうか。

○高橋和政委員 私から情報提供ですが、ナラ枯れについて地域振興局から資料をいただいたので紹介します。以前マツクイムシの被害がありまして、ナラ枯れはそれと同じルートで来たもので、山形から沿岸を通り、現在秋田県の中では大仙、美郷、仙北で最も猛威をふるっているという状況です。被害は秋田県へ報告することになっているようです。木が枯れているなど思うことは皆さんあるかと思いますが、それがナラ枯れが原因で起きていることを皆さんに知っておいていただきたくお話させていただきました。

○農林建設課課長 本日ちょうど県から文書が来ており、森林組合と合同でナラ枯れの調査を近く行う予定です。

○会長 他にございませんか。

(なし)

ないようですので、これで次第7「その他」を終わります。

以上で、本日の地域協議会で予定されておりました案件等の審議は終了となります。本日は、長時間にわたりご協力いただきまして、ありがとうございました。これをもちまして令和2年度の第3回地域協議会を終了したいと思います。皆さんお疲れさまでした。

(午後4時10分 閉会)

中仙地域協議会運営規程第7条第2項の規定によりここに署名する。

会議録署名委員
